

氏名	松 田 昭
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 239 号
学位授与の日付	昭和42年 9 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	尿微量蛋白測定法による産業疲労の研究 第1報 微量蛋白のスクリーニング法について 第2報 エルゴメーター負荷時のエネルギー代謝率と尿微量 蛋白排泄量との関係 第3報 尿微量蛋白による某造船工場の疲労及び腎疾患管理 の試みについて
論文審査委員	教授 緒方正名 教授 大平昌彦 教授 水原舜爾

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

著者は、第1報に於いて、尿微量蛋白定量法として従来用いられている血清反応による方法、B.P. B. 染色法を改良し、あらかじめ濾紙を染色して尿をスポットする方法、及び、染色濾紙を尿に浸透後醋酸で脱色する方法を考案し、従来の方法と比較して、極めて簡便であるが全く同定量値を得ることを述べた。

第2報に於いては、此の方法を用いて、自転車エルゴメーター負荷時の R.M.R. と尿蛋白排泄量の関係について測定を行なった。そして R.M.R. の増加よりやや上廻る尿蛋白排泄量の増加を認めた。又、造船工場に於いても、算出した R.M.R. と尿蛋白排泄量との間に、略同様の傾向を認めた。

第3報に於いては、此の方法を、造船工場作業員971名について行ない、又、4年間延10,102名について尿蛋白排泄量が限界値をこえるものについて残業を中止させると言う疲労管理の方法を試みた。そして、正常作業を行なっているにも拘らず、尿蛋白排泄量を、90%の者に減少せしめえた。同時に腎疾患のスクリーニングにも利用しうることを述べた。

(3報共 昭和42年4月 岡山医学会雑誌 第79巻3.4合併号に掲載)

論文審査の結果の要旨

本研究は、疲労時における尿微量蛋白定量法として新たに沪紙 B.P.B. 染色法を考案したものであるが、本法により自転車エルゴメーター負荷時の R.M.R. と尿蛋白排泄量との間に平行関係のあることを認め、更に造船工場において約 1 万名を対象として、疲労及び腎疾患管理の方法に成功した。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。